



# 玉工通信 第1号

〒 311-3501茨城県行方市芹沢1552  
TEL 0299-55-0138 FAX 0299-55-3454  
<http://www.tamatsukuri-th.ibk.ed.jp>



R8年3月19日

## たまこう行事予定

- 4月10(金)~16(木) 2者面談期間
- 4月16(木) 基礎力診断テスト(3年)、到達度テスト(1・2年)
- 4月17(金) 第1回避難訓練
- 4月24(金) 進路フェスタ(2年・3年)
- 5月 7(木) 中間考査日程発表
- 5月12(火)~15(金) 中間考査期間

## 終業式 (校長講話)



皆さん、こんにちは。

本日、こうして無事に今年度の修了式を迎えられましたことを、心からうれしく思います。

この一年間、私は皆さんに「4つの大切なこと」をお話してきました。本日は、その一年を振り返りながら、皆さんの確かな成長についてお話したいと思います。

### 一つ目は、「約束と時間を守ること」です。

日々の登校や授業、提出物など、当たり前なことを当たり前続けるのは、決して容易なことではありません。

しかし、多くの皆さんがその積み重ねを大切に、学校生活の土台をしっかりと築いてくれました。その真摯な姿は、確かな信頼へとつながっています。

### 二つ目は、「迷ったときには一度立ち止まること」です。

この一年、進路や人間関係など、さまざまな場面で悩んだ人も多かったことでしょう。

しかし、その都度立ち止まり、自分自身と向き合って考えた経験は、皆さんを大きく成長させたはずです。すぐに答えを出すのではなく、悩む時間を大切にできたことに、大きな意義があります。

### 三つ目は、「困っている友達を見かけたら先生に相談すること」です。

仲間を気遣い、声をかけ、支えようとする温かい行動が多く見られました。一人で抱え込まず、周囲とつながろうとする皆さんの姿勢が、誰もが安心して過ごせる学校づくりにつながっています。

### 四つ目は、「お互いに認め合うこと」です。

価値観の違いを受け止め、相手を尊重しようとする姿は、さまざまな場面で見受けられました。互いを認め合うことでより良い人間関係が築かれ、皆さん自身の視野も大きく広がっていったのではないのでしょうか。

こうした日々の積み重ねは、目に見える大きな成果も生み出しました。

今年度は、ものづくり全国大会電気工事部門において、全国初となる連覇という偉業を達成しました。また、若年者ものづくり競技大会電気工事職種での全国準優勝、ロボットアイデア甲子園全国大会での準優勝など、日頃のたゆまぬ努力が見事に実を結んだ一年でした。これらは個人の力はもとより、まさに仲間と認め合い、支え合ってきた成果です。

そして、いま目の前にいる1・2年生の皆さんも負けてはいません。ウエイトリフティング競技でのインターハイ入賞をはじめとした各種大会での活躍。また、SDGsQUESTみらい甲子園茨城県大会最優秀賞や、女子高生STEAMコンテスト県第3位など、探究活動の分野においても輝かしい成果を収めてくれました。

さらに、SDGs QUESTみらい甲子園は6月に全国大会を控えており、若年者ものづくり競技大会電気工事職種においても、次年度の全国大会出場権を既に獲得しており、先輩方に負けない実力を存分に発揮してくれています。

本校が誇る電気工事分野での全国トップレベルの技術力に加え、ウエイトリフティングや無線競技、そして探究活動においても新たな風が吹いていることを、私は本当に心強く感じています。来年度は、この流れがさらに広がり、学校全体がより一層活性化していくことでしょう。

明日から春休みに入ります。この一年間の自分をしっかりと振り返り、「できたこと」に自信を持ち、「さらに努力すべきこと」を整理してください。そして、新年度に向けた準備を進めてほしいと思います。新2年生は学校の中心となる存在として、新3年生は進路実現に向けた勝負の一年として、それぞれの立場でさらなる飛躍を期待しています。

結びに、今年度は成績による原級留め置きが一人も出ず、全員が次の学年へ進級できることになりました。これは、皆さん一人ひとりの努力の賜物であるとともに、日々熱心に指導に当たってくださった先生方のサポートのおかげです。ここに心から敬意と感謝を表します。

来年度が、皆さんにとってさらに充実した素晴らしい一年となることを願い、今年度最後の校長からの話といたします。

# 生徒指導部長講話

R8年3月19日



## 生徒会長挨拶



皆さん、こんにちは。今年度もお疲れ様でした。4月から始まり、この終業式まで本当にあっという間でした。

5月には生徒総会があり、生徒の皆さんの同意のおかげで、予算案などを可決することができました。

また、6月にはクラスマッチがありました。新しい試みとして今年度は「eスポーツ」を行いました。新しい試みで不安なこともありましたが、無事成功することができて良かったです。

11月には文化祭がありました。当初は生徒のみでの開催でしたが、親御さんが入場可能にすることができました。

私達、生徒会としては、皆さんの意見を取り入れ、新しい試みができたと感じています。

生徒会が活動できていたのは、生徒の皆さんのおかげです。

来年度も、是非、よろしく願います。

春休みの間、お世話になっている人や友人との時間を大切に、心と体を休めて、4月にまた会いましょう。

## 終業式講話

年度を終えるにあたり、令和7年度を振り返りながら、3つのことについて話をするので、聞いてください。

### 1. 交通について

生徒の皆さんには、年度の初めから「命よりも大事なものは無い」とお伝えしてきました。昨年度に続き、登下校中の死亡事故は無く、軽微な事故も減少したことについては非常に安心しています。

ただし、登校中の大きな事故により、原付バイクを運転していた生徒が長期入院を余儀なくされる事態が発生したことについては、触れておきたいと思います。年度初めから交通安全の徹底を促され、その都度注意を受けた皆さんは、すでに交通安全への意識が身につけているとは思いますが「事故遭った人が、事故に遭おうとしていたわけではない」ということを再認識し、十分に気をつけてほしいと思います。春休み期間を含め、新年度は事故の多い季節となりますので、交通安全の徹底を図るとともに、命を失わないようにしましょう。

令和8年4月1日より、自転車の交通違反(ながらスマホ、ブレーキなしまたは故障など)が青切符交付の対象(反則金が発生する)となります。登下校に関わらず、自転車を利用する皆さんは、この青切符交付の対象となる違反についてよく確認しておきましょう。

### 2. 問題行動の改善について

今年度の指導件数は27件となりました。昨年度から10件の減少となり、SNSトラブル、喫煙、無許可通学等、それぞれにおいて減少傾向が見られました。これは、生徒の皆さんが理解し、日々の生活の中で協調性をもって生活した成果であると考えています。一方で、冬季休業前にも話した通り、今年度は後期に問題行動が多く発生し、10月から12月のうちに17件が集中しました。全体としては皆さんの理解と協調性により10件の減少となりましたが、後期の進路が決定した後の期間や人間関係が活発になったタイミングでトラブルが発生しやすかったことは、よく覚えておく必要があります。

問題行動とは別の話ですが、全国的に大麻所持・使用の検挙数が増加しています。以前にSNSと暴力行為についての注意喚起の際にもお伝えしましたが、学校は学校だけで解決が難しい案件の場合、警察と連携して対応することになっています。そのような事態になる前に、今後も皆さんが加害者や被害者にならないための声かけや取り組みをしていきますので、その点については十分に理解をしておいてください。

### 3. 次年度に向けて

次年度は新入生64名を迎え、在校生と合わせて226名となる予定です。私が玉工に赴任したとき、全校生徒は540名程度でしたので、それから比べると生徒数は半数以下になりました。生徒数だけに目を向ければ、減少していることに間違いはありません。

しかし、玉工生が玉工生としてやるべきことに大きな変化は無いと思っています。規模が小さくなり、ひとりひとりの顔がよく見える環境になったことを良い方に捉え、各自が主体となって活躍できる場を見つけてほしいと思います。そのために、自分勝手にならず、良い雰囲気の中で皆さんが成長できるようにしてほしいと思っています。「ものは壊すのではなく、つくるものです」良いものづくりを通じて良い人格を形成できるように、次年度は始業式から気持ちを入れて来るようにしましょう。

# 表彰式 (終業式)

R8年3月19日

## 「1ヶ年 皆勤 第1学年」

### 【A組】

狩谷 樹 小松崎 亮 鈴木 心愛 鈴木 実紗 宮崎 裕大

### 【B組】

加納 早規 坂井 夢 関 宣文 高柳 和誠  
土子 恭弥 中谷 翼 二階堂 駿 矢口 颯一郎

### 【C組】

岡田 志堂 川崎 陽太 越川 諒太 藤沼 本樹

## 「1ヶ年 皆勤 第2学年」

### 【A組】

飯田 悠真 緒方 蓮斗

### 【B組】

石田 祥大 宇津野 稜昌 上代 健正 木村 幹  
佐川 天翔 並木 蒼空 森内 颯汰 山岡 寛和

### 【C組】

川島 蓮 吉川 春翔



## 「工業業研究部」

2025 高等学校ARDF競技大会東海地区秋季大会  
クラシック 144MHz 帯競技高校男子個人の部  
第2位 2B 小野沢 純輝 第4位 1B 沢上 健琉  
第3位 2A 萩原 奏

## 「工業業研究部」

2025年度 SDGsQUEST みらい甲子園茨城県大会最優秀賞  
1A 七五三 來稀 石崎 貴彬  
宇都木 望麓 高柳 樹利 宮崎 裕大  
1C 岡田 志堂 塙 新汰

## 「国語科」

第17回 なめがた狂歌奨励賞

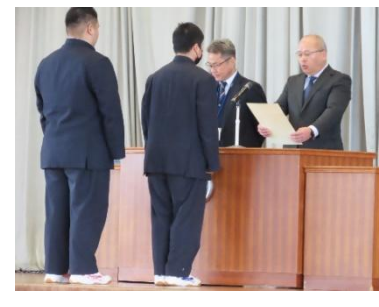
1A 宇都木 望麓

## 「ウエイトリフティング部」

第41回関東高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会  
88kg 級トータル 第6位 記録 185kg  
2C 薬丸 陽斗  
+94kg 級トータル 第2位 記録 250kg  
1B 村上 煌輔

## 「探究班」

第10回 女子高生 STEAM コンテスト 第3位  
1A 鈴木 心愛 鈴木 実紗 1B 加納 早規 坂井 夢



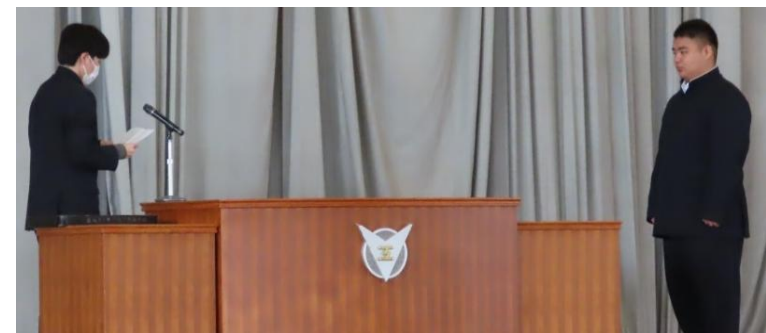
# 令和7年度第41回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会

期 日:令和8年3月25日(水)~3月28日(土)

会 場:金沢市総合体育館

R8年3月19日

## 壮行会(1B 村上 煌輔)



## 学校長より激励の言葉

## 激励の言葉 (生徒会長)

壮行会 生徒会長あいさつ

ウエイトリフティング部の村上煌輔さん、この度の全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会への出場おめでとうございます。

村上さんは、毎日、重いバーベルと向き合い、自分の限界に挑んできたと思います。その努力の積み重ねは絶対自分の自信につながります。

これまでの努力をすべてバーベルにぶつけてきてください。

また、自己ベストの更新、上位入賞を全校生徒一同、期待しています。

ケガには十分気をつけて頑張ってきてください。！

皆さん、こんにちは。

本日は、来週3月25日から石川県金沢市で開催される「第41回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会」に出場する、1年生の村上煌輔(むらかみ こうすけ)さんの壮行会です。村上さん、全国選抜大会への出場、誠におめでとうございます。

皆さんもご存知のとおり、村上さんはまだ1年生でありながら、これまで関東大会や全国大会をはじめとする主要な大会に次々と出場し、見事に入賞を果たすという、大変素晴らしい実績を残してくれました。ウエイトリフティングという競技は、たった一人でプラットフォームに立ち、目の前の重いバーベルと、そして何より「自分自身の限界」と向き合わなければならない、非常に過酷で、孤独なスポーツだと思います。

1年生ながら、並み居る強豪たちと肩を並べ、全国の舞台で結果を出し続けてこられたのは、村上さんが日々の厳しい練習から決して逃げず、自分に打ち勝ってきた何よりの証拠です。その計り知れない努力と強い精神力に対し、心から敬意を表します。

村上さん、いよいよ、金沢市総合体育館での新たな大舞台が待っています。これまで経験してきた全国大会での緊張感や、そこで得た自信は、必ず今回の大きな力となるはずです。本番では、どうか気負いすぎることなく、これまで流してきた汗と、培ってきた自分の力を信じてください。そして、プラットフォームの上で、思い切りバーベルを持ち上げ、自分自身の最高のパフォーマンスを発揮してきてください。

今日ここに集まっている全校生徒、そして先生方、そして地域の皆さんも、村上さんの最大の応援団です。茨城の地から、学校全体で力強いエールを送っています。大会期間中は体調管理に万全を期し、怪我のないよう、持てる力を存分に発揮してきてくれることを心から祈念して、私からの激励の言葉といたします。

村上さん、頑張ってきてください！ 応援しています。